

# 東風

# HARUKAZE

令和2年3月2日発行

東中の卒業生は“学び続けることのプロフェッショナル”

## 義務教育の最終章で 誠実さとしなやかさ

「僕はポジティブなので、なくなったことを前向きに捉え、親や先生方に、別の何かで恩返しをしたいと思います。まずは校長先生からもらう卒業証書で恩返しをしたいと思いでの、どうぞ宜しくお願ひいたします。」

3年生からこのような手紙をもらいました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、多方面に大きな影響と混乱を及ぼしています。

北海道ではいち早く全道の公・私立小・中学校で休校になり、現在緊急事態宣言が出されています。3月1日（日）に行われた福岡県の県立等学校の卒業証書授与式も30分程度に短縮され実施されました。同日夕方には、北九州市内でも感染が確認されています。

そして2月27日（木）18時すぎ、総理大臣官邸で開かれていた対策本部で「3月2日（月）から春休みまで、全国の小・中・高等・特別支援学校で臨時休校」が要請され、各都道府県で検討がなされました。新宮町では3月2日（月）まで出校し、3日（火）から休校となります。

つまり、今年度の全校生徒がこの東中につどるのは、今日が最後になります。

2月26日（水）朝の時間で、3年生に、卒業証書授与式とその練習での感染拡大を抑えるため、式歌（仰げば尊し等）を残念ながらなくしますとお伝えしました。①生徒の皆さんや先生方の生命と健康を守ることは勿論ですが、

②公立一般入試を控えた皆さんが安心して受験に向かえること

③卒業証書授与式で3年生に証書を授与すること

④多くの保護者、在校生で、この一年頑張った3年生を送り出すこと

を、目的にそのような措置をとらせていただいたことを説明しました。最初の文面は、その後に3年生からいただいた手紙の一部です。多くの3年生が同じような思いをもってくれています。

年齢や立場を超え、その誠実さとしなやかさに感謝と尊敬の念を抱きます。

①～④の目的を達成するため、限られた時間でやれる事は全力でやり尽くしたいと思います。

今起こっていることは私たちの生命や財産を脅かす「災害」です。一人一人が自らの安全を守る「自助」の精神を發揮し、皆で力を合わせ（「協働性」）、被害を最小限に抑える「減災」、速やかに日常を取り戻す「減災（レジリエンス：しなやかさ）」を実現していきましょう。

開校しての一年。3年生の明るさと元気さ、そして本番の強さにはいつも励まされました。3年生の持つ誠実さは大きな強みであり、その姿を見た2年生は、「本気を学べ」と物事を遂行し成し遂げる学年に成長しました。3年生の教えを受けた1年生は、皆さんのリーダーシップに憧れ、超えるべき存在としてこれからも追い続けるでしょう。3年生の皆さんは「誇れる」東中の最初の卒業生です。最終章で発揮した誠実さとしなやかさで、これから的人生をより豊かなものにしてください。それぞれの進学先で、新宮東の名を刻むとともに、幸せな10年後を築いてください。中学校卒業、本当におめでとうございます。君たちの成人式（新成人のつどい）でも全力でお祝いさせていただきます！